

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定16

千葉県立館山総合高等学校 定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校定時制の課程において、明確な目的意識を持って学ぶことができる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：約20分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席の日数については、審議の対象としない。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する 際の参考とする。
オ 総合所見	記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（面接） [90点満点]

3名の評価者が、次の10の評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・

b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを3点・bを2点・cを1点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	本校定時制への志望の動機と目的が明確である。
イ 進路について	進路についての明確な考えを持っている。
ウ 本校への関心	本校への関心が十分である。
エ 学習意欲	学業への意欲を持っている。
オ 学校生活	充実した学校生活を送る意欲を持っている。
カ 規範意識	集団生活における規範意識を持っている。
キ 身だしなみ・姿勢	身だしなみ・姿勢がきちんとしている。
ク 応答態度	応答態度がまじめである。
ケ 言葉遣い	言葉遣いが正しい。
コ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校定時制を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	面接	
500点	135点	90点	725点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

令和3年度 成人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定16

千葉県立館山総合高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：約20分
(2) 作文	字数：400字程度 検査時間：50分
(3) 成人の特別入学者 選抜志願申請書	実施要項（様式9）により、「志願した理由」を記入したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 面接

3名の評価者が、次の10の評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	本校定時制への志望の動機と目的が明確である。
イ 進路について	進路についての明確な考えを持っている。
ウ 本校への関心	本校への関心が十分である。
エ 学習意欲	学業への意欲を持っている。
オ 社会生活	意欲的な生活を送っている。
カ 規範意識	集団生活における規範意識を持っている。
キ 身だしなみ・姿勢	身だしなみ・姿勢がきちんとしている。
ク 応答態度	応答態度がまじめである。
ケ 言葉遣い	言葉遣いが正しい。
コ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。

(2) 作文

2名の評価者が、次の10の評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 表記・字数	字は読みやすく丁寧で、字数の過不足はない。
イ 文体の統一等	話し言葉と書き言葉の違い、文体の統一等について理解して表現している。
ウ 誤字・脱字等	漢字を適切に使い、誤字や脱字等はない。
エ 係り受けの関係	主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意して文章を書いている。
オ 原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方が適切である。
カ 内容	述べられていることが出題に対して適切である。
キ 表現	自分の考えをわかりやすく書いている。
ク 具体性	自分の考えが効果的に伝わるように、根拠を説明したり具体例を用いたりして書いている。
ケ 段落構成	段落構成が適切で、文章全体としてまとまりがある。
コ 一貫性	考え（意見）が首尾一貫している。

(3) 成人の特別入学者選抜志願申請書

評価項目	評価基準
志願した理由	本校定時制への入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

選抜の方法

成人の特別入学者選抜志願申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。